

平成 25 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社

代 表 者 名 代表取締役社長兼執行役員 矢崎 雄一郎

(コード番号：2191)

問 合 せ 先 取締役常務執行役員 山本 龍平

電 話 03-6272-6477

長崎大学病院と固形がんに対する ZNK[®]細胞免疫療法の第 I 相臨床試験を開始

～九州大学と開発した、がん細胞殺傷能力の高い NK 細胞を増幅する新規技術を活用～

当社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎）は、この度、長崎大学病院（所在地：長崎県長崎市、病院長：河野 茂）と新規技術を用いた NK（ナチュラルキラー）細胞療法^{※1}である「ZNK[®]細胞免疫療法」の第 I 相臨床試験を開始いたします。

NK 細胞は、ウイルス感染細胞やがん細胞に対し殺傷能力（細胞傷害活性）を持つ細胞で、病気を未然に防ぐ働きをしていると考えられています。しかし進行がん患者では、NK 細胞の数と活性が低下していることが知られているため、NK 細胞を体外で増幅・活性化することががんの免疫細胞療法に効果的であると期待されてきました。

一方で、従来、欧米を中心に実施されてきた臨床研究においては、NK 細胞の体外での増幅・活性化が不十分であり高い抗腫瘍効果が得られておらず、世界中の研究者がこの課題の克服に取り組んでいます。

ZNK[®]細胞免疫療法では、当社が九州大学と平成 24 年 2 月に共同で特許出願を行った新規技術を用い、細胞傷害活性を最大限に高めた NK 細胞を、簡便な方法により高純度で数百倍に増幅することを可能としています。

本臨床試験は、固形がん症例に対して、ZNK[®]細胞免疫療法の安全性の確認および用量漸増による最大耐容用量（どの程度の数の ZNK[®]細胞が安全に投与できるか）の検討を主要評価項目、抗腫瘍効果の評価を副次評価項目として実施致します。なお、本臨床試験は、長崎大学病院 細胞療法部 副部長 長井 一浩医師が、研究責任者としてこれを統括・実施いたします。

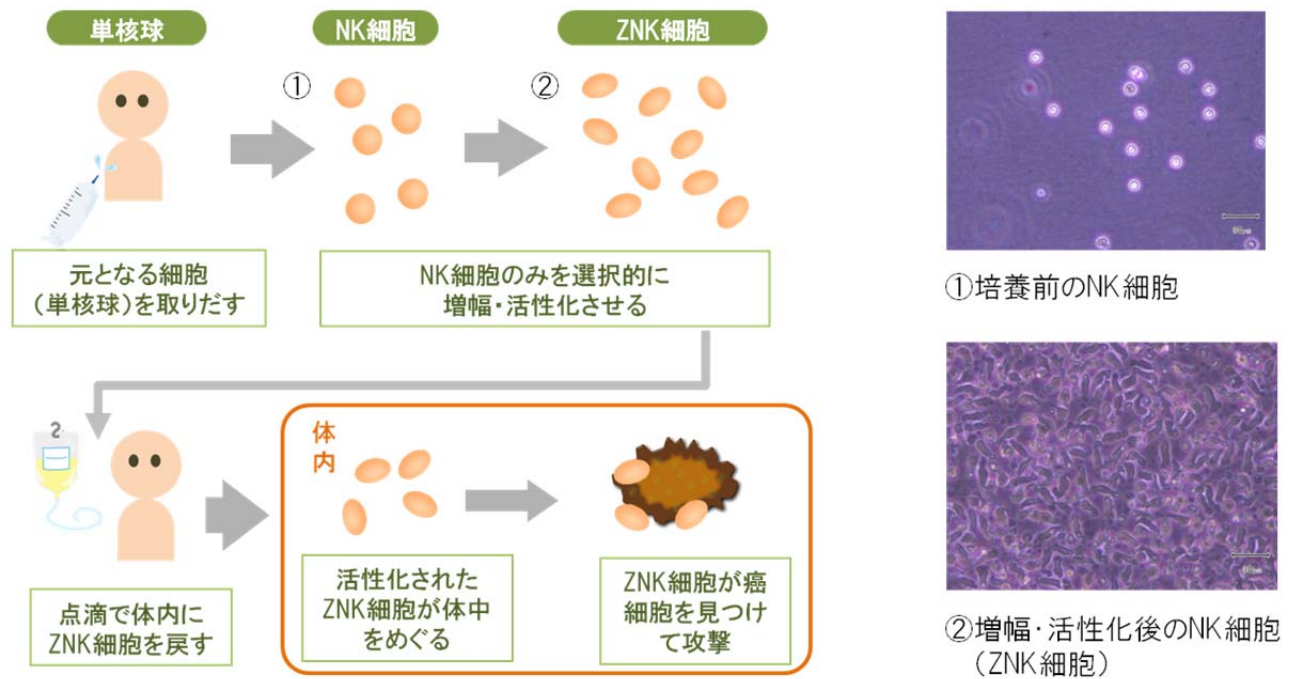
本臨床試験における評価結果を踏まえ、ZNK[®]細胞免疫療法の早期実用化を目指してまいります。また、本療法は、当社がこれまで研究開発を行ってきた樹状細胞ワクチン療法^{※3}と作用機序が異なり相互補完性が期待されることから、これらを組み合わせることにより、より効果的ながんの治療法となる可能性があります。

当社は今後も、樹状細胞をはじめとする有用な細胞についての研究開発を行い、多くのがん患者のみなさまに新たな治療の選択肢を提供できるよう努めてまいります。

なお、本件による今期業績への影響は軽微であります。

【参考】

NK 細胞療法の流れ



提供:九州大学大学院薬学研究院

【※1】NK (ナチュラルキラー) 細胞療法

患者より血液を採取し、体外で培養、活性化した NK 細胞を点滴静脈投与で体内に戻すことで、がんを攻撃させる治療法です。

【※2】ZNK® (Zenithal Natural Killer)

ZNK®は当社と九州大学が共同で特許出願をした新規技術で、細胞傷害活性を最大限に高めた NK 細胞を、簡便な方法により高純度で数百倍に増幅することを可能としています。なお、ZNK は当社の登録商標です。

【※3】樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの目印である物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球にがん細胞のみを狙って攻撃させる新しいがん免疫療法です。

【長崎大学病院について】

- 名 称 長崎大学病院
- 住 所 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号
- 創 立 文久元年（西暦1861年）9月
- 代 表 者 病院長 河野 茂
- 電 話 （代表）095-819-7200

※長崎大学病院は、文久元年に日本最初の西洋式病院として開設され、長崎県内唯一の大学病院として先端医療に取り組んでいます。がん診療連携拠点病院として、地域の方々が日常の生活圏で質の高い医療を受けられるよう体制を整備しています。

当社は平成23年1月に国立大学法人長崎大学と提携契約を締結し、標準治療に抵抗性のある膵臓・胆道・肝臓がんを対象とした樹状細胞ワクチン療法について、技術・ノウハウを提供しています。

以 上